

平成29年度 初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数

						再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃がん	219	44	82	98	7	219	1	7
大腸がん	60	146	200	126	41	326	1	7
乳がん	43	42	32	8	3	118	1	7
肺がん	13	3	2	13	3	9	1	7
肝がん	2	22	18	16	-	28	1	7

※ 1:UICC TNM分類, 2:癌取り扱い規約

《解説》

日本で現在最も罹患数の多い5つのがん(胃・大腸・乳・肺・肝)の病期(ステージ)ごとの症例数を集計しております。病期分類は、がんがどれくらい進行しているかを分類するもので、Stage0からStageIVまであり、StageIVが最も進行していることとなります。

なお、再発がんは症例数のみを別に集計しています。当院は、『北海道がん診療連携指定病院』として幅広いがんを積極的に行っております。消化器内科では、早期の胃癌・大腸に対する内視鏡治療、外科では腹腔鏡、胸腔鏡による治療を行っており、患者さんの身体的負担の少ない治療を積極的に行っております。また、腫瘍内科を主体とした最新の化学療法も行っております。緩和医療にも取り組んでおり、進行がん・再発がんの患者数も多くなっております。